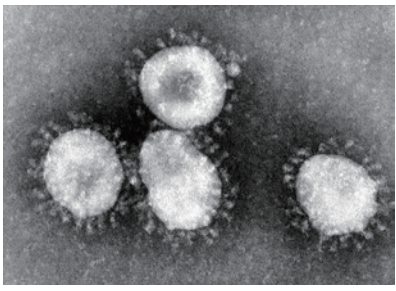


新型コロナウイルス感染症拡大

非常事態宣言で外出自粛



中国武漢からの新型コロナウイルス肺炎が、日本でも感染が拡大しています。

4月7日に安倍首相は「緊急事態宣言」を発令、久喜市は、▽外出自粛要請▽イベント自粛▽市立幼稚園・小学校・中学校は、5月6日まで休業▽施設の使用停止の協力などを行いました。

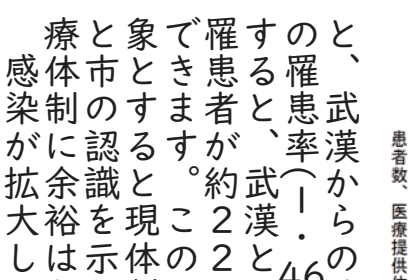
4月10日に市内初の感染者が判明、4月12日時点で3名の感染がわかっています。

2月21日、市は「久喜市新型インフルエンザ対策実施行動計画(行動計画)」に準じ対策本部を設置しました。

平成21年に確認された新型コロナウイルスインフルエンザの教訓を踏まえ、平成24年に危機管理の法律として新型インフルエンザ等対策特別措置法(特措法)を制定し、平成26年に市は行動計画を作成しました。

市が早期より行動計画に準じて対応したことを鑑みれば、国の特措法の改正や緊急事態宣言の発令は遅かったと私は考えます。

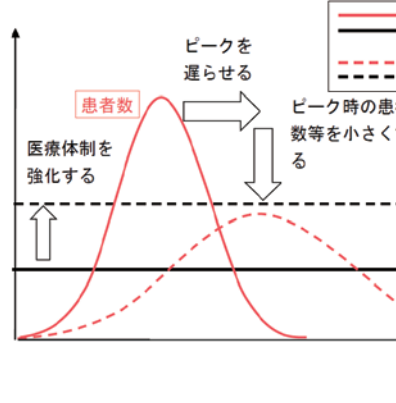
行動計画 初の実施に 議会で感染症対策を質問



3月2日 議会の一般質問で、市の感染症対策について質問しました。当時は国内発生早期でした。行動計画に

基く市の行動は初めてで、私は今後予想される事態について確認しました。行動計画の目的は、感染拡大のピークを遅らせ、医療体制の維持とワクチン製造の時間確保、死傷者を減らし、市民生活や経済の影響を最小限にすることにあります。

<対策の効果(概念図)>



と、武漢からのチャーター機の罹患率(1・46%)から推計すると、武漢と同様の状況で罹患者が約2234人と推計できます。この人数を医療対象とすると現体制では厳しいと市の認識を示しました。医療体制に余裕はないのです。

医療施設を設置し医療提供を行います。県からの陰圧テンで仮設します。

PCR検査を受ける医療崩壊を招く

また、PCR検査ですが、検査結果は確実ではないことがわかっていきます。陽性判定でも陰性の方(偽陽性)、陰性判定でも陽性の方(偽陰性)が必ず出てしまいます。現在の医療体制で、誰もが検査を受

ける、医療資源の多くを偽陽性の方に使い、医療崩壊が起り、多くの国民の命を危険にさらします。

厚生省が示す①風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いていいる方②強い断りや息苦しきがある方③判断していくの大切です。

緊急事態宣言時の措置として、県は火葬場の可能な限り稼働要請や一時遺体を安置する施設の確保要請ができません。遺体の安置所や遺体からの感染リスク対応には、遺体を消毒し密閉式のビニール袋などで安置します。

緊急事態措置として他に以下のことができません。▽感染リスクの高い学校、保育所等の使用制限要請▽社会維持に必要施設に消毒設備の設置要請▽運動、遊戯施設等の使用制限(千㎡超の施設のみ)▽電気、ガス、水道安定供給▽運送・通信・郵便の確保▽緊急物資の運送などです。

今は、一刻でも早く感染の拡大を抑えなければなりません。密閉・密



平沢 健一郎

○プロフィール
 誕生日 昭和47年7月25日
 趣味 地域活動 ゴルフ
 水泳
 特技 剣道 4段
 篠笛演奏

○経歴
 葛蒲中学校-不動岡高校-神奈川大学
 自由民主党久喜支部 副支部長
 しょうぶつ子ゆうゆうプラザ 実施委員長
 ブルーフェスティバル実行委員会 副実行委員長
 久喜市消防団 ローズパーク 阿波踊りき連